

# 第二回多摩コメディカル研究会 アンケート集計結果

---

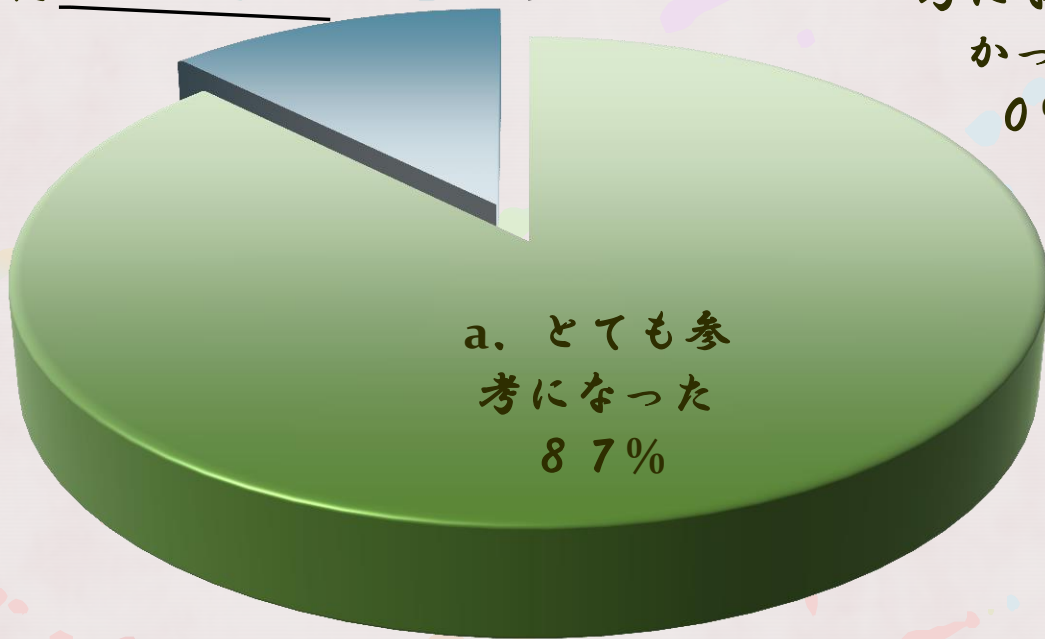
24名からの調査結果

# 1. 会の内容は如何でしたか

b. 少しは  
参考になった  
13%

c. あまり参  
考にならな  
かった  
0%

a. とても参  
考になった  
87%



## 2. 参考になった方は、どんな点が具体的に記入してください

- ・前田さんの話が参考になりました。(Nsの業務への関わり方など聞けて今後のチーム業務に生かせると良いと思った)
- ・デバイスナーズについて初めて知りました。チーム医療を行う上で専門家同士の領域と目的意識を1つにすることで医療水準をより高く持つことができるように思えます。
- ・デバイスに特化したナーズを置くことで、患者のバックグラウンドや移植後のメンタルケアを積極的に行うことができることがわかった。当院でも早く改善したい点である。
- ・導入方法がよくわかった。
- ・遠隔モニタリングを扱っていないので非常に勉強になりました。無線の方が患者とコメディカルの双方で有益だと感じました。
- ・どのメーカーから入っているのか参考になった。
- ・実際現場でどのように活用しているかが理解でき参考になった。
- ・デメリットが確認できて良かったです。メリットばかり押し進められても本当なのか？という疑問がつかまといいます。



### 3. 遠隔モニタリングのどんな点に興味を持ちましたか

- ・データの確認
- ・外来業務短縮
- ・管理・運営（データチェック等）の体制
- ・外来チェック時以外にも、患者の状態把握が可能なこと
- ・時間に追われる事なく外来対応ができ患者の満足度が増す。
- ・一人一人の患者に時間がかけられる様になるので、メンタルケア等にも配慮することが出来る様になる。
- ・WEB画面を関係者が共有出来るので、情報の伝達に優れている。

# 4. 今後の研究会で討議したい内容はどんなテーマですか

- ・ 実戦で使える知識
- ・ レントゲンのみかた
- ・ 特徴のある症例
- ・ 実際に起きたトラブルシューティング (植込み、救外対応時など) 4名
- ・ 新人教育
- ・ 基礎的なこと (今さら聞けない異常波形、勉強会) 2名
- ・ 各施設での情報共有ができる内容がいい
- ・ 虚血
- ・ ABLなどはどうでしょう